

令和5年度和名ヶ谷中学校 2学期学習の指針（シラバス）

教科	国語	学年	1年
----	----	----	----

1 学習の目的

◆国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
2 学 期	・説明的文章『森には魔法つかいがいる』	・説明的文章の構成に着目し、展開を捉えて文章を読むことができる。
	・古典『箱に入った桃太郎』『竹取物語』	・古典文学にふれ、歴史的仮名遣いを理解することができる。
	・漢文『故事成語一中国の名言』	・漢文訓読のきまりを理解し、さまざまな故事成語の由来や意味を理解する。
	・詩『河童と蛙』	・多様な表現技法を味わい、場面の展開や登場人物の心情変化に着目して読むことができる。
	・漢字の学習	・漢字の読み書きを自分なりの工夫を凝らして練習し、小テストにおいてその成果を出すことができる。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適度に使おうとしている。	・定期テスト ・文法 ・漢字小テスト ・古文 ・暗唱テスト
思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期テスト ・スピーチ ・文章の読解 ・作文 ・聞き取りテスト
学びに向かう姿勢	・言葉を通じて積極的に人と関わり合ったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	・学習用具の準備 ・授業態度 ・発表 ・提出物の取り組み状況 ・日常の学習状況 ・暗唱テスト

4 使用する副読本

題名	出版社
単元別漢字	秀学社
よくわかる国語の学習 1	明治図書

令和5年度和名ヶ谷中学校 2学期学習の指針（シラバス）

教科	国語	学年	2年
----	----	----	----

1 学習の目的

◆国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
2 学 期	・短歌『短歌の味わい』	・多様な表現技法を味わい、短歌の展開や内容に関する心情変化に着目して読むことができる。
	・説明文『紙の建築』	・説明的文章の構造に着目し、展開を捉えて文章を読むことができる。
	・古典『敦盛の最期』 『随筆の味わい』	・古典文学にふれ、歴史的仮名遣いを理解することができる。文章全体の構成を理解することができる。
	・漢文『孔子の言葉— 論語』	・漢文訓読のきまりを理解し、さまざまな孔子の教えや門弟の考えを理解することができる。
	・物語文『走れメロス』	・物語のあらすじを読み取り、登場人物の心情の変化に気づくことができる。友情の大切にも触れることができる。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
--	------	------

知識・技能	・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適度に使おうとしている。	・定期テスト ・文法 ・漢字小テスト ・古文 ・暗唱テスト
思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期テスト ・スピーチ ・文章の読解 ・作文 ・聞き取りテスト
学びに向かう姿勢	・言葉を通じて積極的に人と関わり合ったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	・学習用具の準備 ・授業態度 ・発表 ・提出物の取り組み状況 ・日常の学習状況

4 使用する副読本

題名	出版社
国語の学習 2	明治図書
図解で！わかる方法	学宝社
単元別漢字 2	秀学社

令和5年度和名ヶ谷中学校 2学期学習の指針（シラバス）

教科	国語
----	----

学年	3年
----	----

1 学習の目的

- ◆多くの文章を読むことで、他者の考えをより深く理解する力と、自分の考えを的確に表現する力を養い、言語によるコミュニケーションの質の向上を目指す。
- ◆語彙を増やすことで、自分の考えを表現することへのモチベーションを高める。

2 学習計画

学習内容・教材	学習のねらい
課題作文の書き方	<ul style="list-style-type: none">・情報を正確に取り、自分の意見を持つことができる。・自分の意見を、構成を考え、時間制限・字数制限を守って書くことができる。
漢文について	<ul style="list-style-type: none">・漢文の訓読の決まりを復習する。・白文に訓点を付けることができる。書き下し文にすることができる。テストで活用する力をつける。
古文「おくのほそ道」 和歌「万葉集」他	<ul style="list-style-type: none">・古文のきまり（歴史的仮名遣い・古語の意味など）を復習し、定着させる。・古人の思いを読みとり、現代との共通点や相違点を考える。

<p>漢詩</p> <p>「春望」他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の形式、押韻などの知識を獲得する。 ・古人が詩に込めた思いを、当時の状況と照らし合わせて考えることで、より深く読む。
<p>小説「最後の一句」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「最後の一句」を読み、登場人物の行動の理由や作者が作品に込めた思いを想像し、話し合い、考えを構築する。
<p>慣用句・ことわざ</p> <p>文学史</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな語句とその意味を知り、自身を語る作文中で活用できるようにする。 ・大きな文学の流れと作品作者名を理解する。
<p>詩「初恋」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文語定型詩の特徴を理解し、リズムを意識して音読する。 ・詩中の語句から作者の思いの変化を読み取り、そこにストーリーを見出す。
<p>小説「故郷」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情景描写や登場人物の描写から、人物同士の関係性や心情の変化を正確に読み取る。 ・一人称の語りの特徴を復習した上で作品を読み、作品の主題を自分なりに考える。

※漢字の小テストは、週1回程度の頻度で実施するので、各自学習を進めてください。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の音、形、意味を理解し使っている。 ・文法（助動詞のはたらき等）、ことわざや慣用語、四字熟語などの言葉の使われ方を理解している。 ・古文のリズムや言葉の意味、文法のきまりなどを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（漢字・文法・語句・古文） ・古文暗唱
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・話すこと（スピーチ）、書くこと（作文）において、聴衆や読者を意識して、より自分の考えや思いが伝わるよう構成、表現を工夫している。 ・読むこと（文章読解）、聞くこと（聞き取り）においては、問いに対する答えを、文章、放送の語句を根拠にして判断し答えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元プリント ・スピーチ ・作文 ・聞き取りテスト
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・言語で表現されたさまざまな考えに興味を持ち、他の考えを積極的に吸収しようとしている。 ・学習を振り返ることで、自身の語感を豊かにしようとしたり、知り得た知識を生活に結び付けようとしたりしている。 ・単元プリントの解説・説明を通して多くの知識を 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する意欲 ・漢字小テスト ・授業のワークシート（人物相関図作成、論理展開の図式化）等 ・単元プリント

	身につけようとしている。	
--	--------------	--

4 使用する副読本

題 名	出 版 社
単元別漢字	秀学社
国語便覧（千葉県版）	浜島書店
学習の達成	新学社
千葉県リハーサル直前対策4回	浜島書店
すらすら基本文法	浜島書店